

# はちみつルーム

～はちみつみたいに甘くて、ほっとして、元気が出る場所～

神代団地にある金子地域福祉センターで活動中のはちみつルーム。だれでもふらっと立ち寄れて、安心して過ごせる地域の居場所。小学生のお子さんがある、お母さんが二人で運営しています。代表の滝川さんから、はちみつルームのあゆみについてお話をお聞きしました。



## きっかけは2021年。「まちの縁側」との出会い

はちみつルームの活動を始める少し前、当時中学生、小学生だった3人の子どもたちに大きな変化があった時期が重なり、私は子育てで、これまでにない大変さと、孤独感を感じている時期がありました。あれこれ模索をしていた時、狛江市にある野川のえんがわこまち(※①以後：こまち)に出会いました。こまちは、誰でもいつでもふらりと立ち寄れる「まちの縁側」として、市民グループが運営している地域に開放された場所です。それからこまちに通うようになり、自分が感じていた不安やしんどさを人に話すことで、ありのままの姿を受け入れてもらえる安心感を感じることができました。そこで出会った人たちとの交流は、家でも学校でもない居場所をつくることの大切さ、家族以外の関わりで得られる気づきや癒しを、親子共に実感する機会になりました。

そんな中、こまちが一時的にお休みする曜日がありました。こまちで出会った西さんと相談し、こまちがお休みの日は「自分たちでできることを、できる範囲でやってみよう」と、臨時の居場所として神代団地の集会所を借り、西さんと二人ではちみつルームをスタートしました。



※優しい色合いの、ぬくもりのあるおもちゃたち。

活動を始めた当初は、孤立しがちな子どもたちの居場所になってほしいと考えていましたが、すこしずつ地域の様々な世代の方が立ち寄ってくれるようになりました。

こまちが通常運営に戻った後も、場所を金子地域福祉センターに移し、はちみつルームの活動を継続させていただいています。

※①「野川のえんがわ こまち」は、東京都狛江市で昭和の空気を感じられる空き家を地域に開放した場です。あかちゃんを連れてママさんパパさん、学校帰りのこどもたち(学校に通っていないこどもも)、ご年配の方々…。何歳でも、障害があってもなくても、誰でもいつでもふらりと立ち寄れる「まちの縁側」を目指しています。

〒201-0001 狛江市西野川2-31-1 / 03-5761-4102 / nogawa@comarch.tokyo



野川のえんがわ こまち  
運営団体：comarch